

令和4年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
地理歴史	歴史総合	2	1-1~1-A

1. 学習の到達目標

<ol style="list-style-type: none"> 1. 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史について理解をはかる。 2. 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を養う。 3. グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。 4. 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を養う。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	第Ⅰ編 近代化と私たち 第1章 結びつく世界 第2章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第3章 明治維新と日本の立憲体制 第4章 帝国主義の展開とアジア	<ul style="list-style-type: none"> ・16世紀にはアジア各地で大帝国が成立し繁栄していたこと、同時期にヨーロッパ各国がアジアに進出し、世界的な規模で経済が発展していったことを理解させる。 ・産業革命にいたるヨーロッパ経済の大きな流れを理解させる。 ・五箇条の誓文に示された新政府の国家方針を理解し、版籍奉還と廃藩置県 of 歴史的意義を考察させる。 ・大日本帝国憲法の成立過程をふまえ、憲法の内容を理解し、その特徴を考察させる。
2 学 期	第Ⅱ編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第6章 経済危機と第二次世界大戦 第7章 戦後の国際秩序と日本の改革	<ul style="list-style-type: none"> ・バルカン半島の複雑な状況を理解し、その影響と第一次世界大戦の開戦について多面的・多角的に考察させる。 ・第二次世界大戦がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を考察させる。 ・第二次世界大戦後の国際社会が、どのようにして新たな国際秩序を構築したかを理解させる。 ・日本国憲法の制定過程を理解し、その特徴について考察させる。
3 学 期	第Ⅲ編 グローバル化と私たち 第8章 冷戦と世界経済 第9章 グローバル化する世界 第10章 現代の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・西側陣営が各地に集団防衛機構を構築した目的を理解させる。 ・高度経済成長の契機となる特需景気を理解し、その後の経済成長がどのように展開するか考察させる。 ・グローバル化がもたらす問題について、原因を考察し、どのように対応していけばよいかを理解させる。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期試験（中間・期末） 平常点（ノート提出、授業態度）による。
------	---------------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察している。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解する態度を身に付けている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える（山川出版社）
副教材	現代の歴史総合 みる・読みとく・考えるノート（山川出版社）